

氏名 (法人にあっては名称)	イオンモール株式会社
住所	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番1
計画期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日
基準年度(*1)	令和4年度

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(\*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上(特定事業者) <input checked="" type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上(特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	--

2 事業の概要

事業者の業種	K. 不動産 貸事務所業 (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：6911)
事業の概要	大規模地域開発及びショッピングモール開発と運営 広島市内については、イオンモール広島祇園・広島段原SC、THE OUTLETS HIROSHIMAを運営) 不動産売買・賃貸・仲介 [国土交通大臣(2)第7682号]

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制

<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンモール(株)の温室効果ガス排出抑制等推進体制は管理担当を統括とし、担当部署(戦略部ESG推進グループ)のマネージャーを推進責任者とする。</li> <li>・各店舗での推進は、各モールのゼネラルマネージャー統括とし、オペレーションマネージャーを推進委員(管理員)としてCO2排出抑制に努めます。</li> </ul>
---

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標

項 目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b		削減量の対基準年度比
	令和4年度	令和5～令和7年度 (平均値)		$((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量)
温室効果ガス実排出量(*5)	6,523 t-CO <sub>2</sub>	6,327	t-CO <sub>2</sub>	3.0 %
温室効果ガスみなし排出量(*6)			t-CO <sub>2</sub>	%
目標設定の考え方	省エネ法に基づき年1%の削減			

- \*1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(\*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(\*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。
- \*2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。
- \*3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。
- \*4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。
- \*5 温室効果ガス実排出量とは、上記(\*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。
- \*6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(\*5)に対して環境価値(\*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(\*7)の抑制に関する目標 (※任意記載)

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	令和4年度	令和5～令和7年度 (平均値)	$((a-b)/a) \times 100$
			%
			%
			%
原単位の指標及び 目標設定の考え方			

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の内容

<p>【広島祇園】</p> <p>ターボ冷凍機については夜間電力割引減が無くなった氷蓄熱機の運用を抑え、優先的に運用。外気温の変化に合わせ空調稼働時間の細やかな調整（開店前・閉店後の停止）を実施の他、パッケージエアコンの一部稼働見合わせ、設定温度を高く設定。また、駐車場屋外照明の早期消灯を行った。また、夏季のデマンド対策も兼ね屋内共用部や後方スペースの照明消灯する等の対策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・館内パッケージエアコンの稼働終了時間前倒し。（10分間）</li><li>・外調機の稼働を従来の半分で運用。</li><li>・エスカレーター：10分稼働開始時間を後ろ倒し</li><li>・空調省エネ資材の設置：設置箇所（館内20カ所）において約15%～20%の省エネ</li><li>・夏季影響の少ない共用部一部エアコン停止</li><li>・エレベーター平日1台停止</li></ul> <p>【広島段原】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・空調を省エネルギーに配慮した設定にしての運転管理（冷房26℃、暖房20℃設定）</li><li>・照明及び空調不要区画の運転停止の実施・間引き照明を実施</li><li>・高効率照明器具（LED照明等）へ順次更新</li><li>・冷温水発生器の機器更新による効率アップ</li><li>・空調の間欠運転の実施・駐車場排気ファンの運転時間調整の実施・季節に合ったダンパー調整を行い、最適な外気導入を実施</li></ul> <p>【THE OUTLETS HIROSHIMA】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中間期に外調機を温調せず、外気冷房を励行。また、アウトレットフロアでは排煙窓を開放し、自然換気を励行。</li><li>・空調の設定温度をこまめに変更し、空調の必要性が低いエリアについては送風運転をした。</li><li>・営業時間変更や休業テナント発生時、不要な照明点灯や換気機運転がないように特に注意しタイマー変更した。</li><li>・一部トイレの手洗いに、コージェネレーションシステムによる給湯を実施している。</li><li>・室内空気環境を悪化させない範囲で外調機のインバータ周波数を下げ外気の入入量を削減。</li><li>・後方トイレ・喫煙室では人感センサーにより照明・換気扇の運転制御。さらに換気扇にはインバータで周波数制御。</li><li>・後方通路の照明にはキャノピースイッチで必要なところのみ点灯を徹底。</li></ul>
---

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の内容（環境価値(\*8)の活用等）

特に無し
------

(5) 温室効果ガスの排出の抑制等に関する基本方針

<p>イオンモールは、環境方針を以下の通り定め、地域社会・お客さま・パートナーの皆さまと共に、「共感」「共創」を通じて未来へつながる持続可能な社会を実現します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 気候変動の緩和及び気候変動への適応に貢献します。</li><li>2. 6Rs※1の活動を通じて建設段階からサーキュラーモール※2を実現します。</li><li>3. 生物多様性及び生態系を保全します。</li><li>4. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の当社が受け入れた要求事項を遵守します。</li><li>5. 環境マネジメントシステムを構築し、環境パフォーマンスを向上するための継続的な改善をおこないます。</li><li>6. この方針を当社従業員及び事業に関連する全ての皆さまに周知し、当社の環境情報を公開します。</li></ol> <p>※1 6Rsとは（Rethink、Reduce、Reuse、Recycle、Repair、Returnable）</p> <p>※2 サーキュラーモール：モールの集積・規模を活かし、地域社会、お客さま、パートナーの皆さまとの共創によって循環型社会を実現すること</p>
---

5 その他の取組

<ul style="list-style-type: none"><li>・広島市（環境省主催）のライトダウンキャンペーンに参画。</li><li>・廃棄物のリサイクル率80%以上の維持</li><li>・当社従業員及びモールで働く従業員への環境教育の実施（地球温暖化対策・廃棄物教育）</li><li>・公共交通機関の利用促進（モール従業員及びお客さま）</li><li>・敷地内緑化（植栽帯）の維持管理の実施</li></ul>
---

\*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。

\*8 環境価値とは、ワセットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(\*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。